



friendship force

2013.8.4

Friendship

フレンドシップ・フォース愛媛

NO.48



Freiburg 受入れ

ED 松葉 睦子

桜花爛漫の3月24日～31日、フライブルグから17名のアンバサダーをお迎えし、伊予路の春を楽しみました。彼らは時間厳守、好奇心旺盛、日本の文化に馴染もうとする真摯な態度等、アンバサダーとして申し分なく、中に数名、旧東ドイツの方で英語が話せず、コミュニケーションをとるのに苦労をされたホストもおられましたが、それはそれで面白い経験だったとか。お互い笑顔とジェスチャーで乗り切られたようで、FFならではの心の交流ができたとおっしゃっています。そして、

ホストをはじめ、会員の皆様が、心をこめて彼らをもてなしてくださったおかげで、フライブルグのEDから「愛媛クラブのプログラムはパーフェクト！みなさんのホスピタリティーは素晴らしい！」との称賛を受けました。帰りのバスに乗り込まれる一人一人のゲストの顔を見ながら、また一つ、FFの新たな絆が結ばれ、友情の輪が広がったことを実感しておりました。「FFの楽しい1週間」のために、皆様、御協力、本当にありがとうございました。

愛媛クラブの今

会長 峯 洋子

今年3月にドイツ受入れ、6月にはアメリカへの渡航。5年ぶりのアメリカでしたが、パックスツアーでは見えないアメリカ人の豊かな生活ぶりを実感。コネティカットクラブでは35周年記念のパーティーに出席し、初めて伊予万歳（松づくし）をジョージブラウン会長の前で披露致しました。

最近、愛媛クラブはなかなか良いクラブと感じています。会員数は50家族前後ですが、少数精鋭で皆が協力し、大変活動的です。ここ10年位渡航者を集めるのが大変だったのですが、今年は何と26名の参加。22年前の25名以来です。どうした事でしょう？来年のコスタリカ渡航へも、既に大分集まりました。これは偶然ではないかもしれません。

1年前から佐藤学・洋子ご夫妻が始められた「英語で話す集い」、それから矢野和子さん、澤田洋子さん中心の「手仕事の会」も盛況で、クラブ内での楽しい交流がExchangeの参加者増加につながっているようです。私は最近、愛媛クラブについて聞かれる度に、「会員数は少ないですが、アクティブです。」と誇らしげに答えています。この活動が続くように、楽しい会に致しましょう。

フライブルグ(ドイツ)受入れ 2013. 3.24 ~ 31

24日(日) 13:05 松山空港着
 25日(月) フリーデー
 歓迎パーティー(担当: 大塚潤子)
 26日(火) 八束邸訪問 (担当: 川端満子)
 日本文化紹介お茶席、着付け
 (担当: 峯洋子、玉井培子)
 27日(水) 広島・宮島バスツアー
 (担当: 久保玲子、安田京子、佐藤学)
 28日(木) 松山城、石手寺、道後温泉
 (担当: 中村緒由美、松葉睦子)
 29日(金) しまなみバスツアー
 (担当: 矢野和子、川端満子)
 30日(土) フリーデー
 31日(日) 8:30 岐阜に向けて出発

ED: 松葉睦子

デイホスト: 石丸教子、大塚潤子、大西初美
 川端満子、久保玲子、中村緒由美、松下愛佑
 松葉睦子、安田京子、矢野和子、矢野通子

興味津津 my guest

澤田 洋子



ドイツから来る前、日本のことをよく勉強していて、どこに行っても帰ってきて色々質問され、話が途切れることなく、おしゃべり

をし、とても楽しいHannaでした。日本食も美味しいと言って、近くの海で採ったワカメ、海藻のサラダも喜んでくれました。何回も受入れをしたけれど、生魚を食べるゲストは、初めて。Hannaは、手巻きのマグロ、すき焼きの生卵も食べ、私の方が驚いた。

松山に来た翌日は中央公園に行き、満開の桜の下でランチをして植木市で花を楽しみ、ドイツにはない花の写真を撮っていました。HannaとVerenaが道後商店街、デパートを歩きたいと言い、大丈夫かなと思いましたが、待ち合わせの場所に二人がいて、ほっとしました。自分達で電車に乗ったり買い物をしたりするのも、いい経験になったと思います。夜は、折り紙、ネックレスを作り、喜んで持って帰りました。友達にも教えてあげることでしょう。

何でも楽しんで

有光 佳代



日本が96ヶ国めの訪問地だというErika&Dieterは酸いも甘いも噛み分けた感じのいいご夫婦。夜は少し(?)のお酒と会話を楽しむのが我が家流。ところがこの度は少々勝手が違う。言葉が通じない。臆することなく穏やかな笑顔とドイツ語で喋り続ける彼ら。最初は戸惑いながらありったけの想像力と勘を働かせ辞書を片手に四苦八苦の夫と私。それも日ごとに楽しくなる。そんなこんなで言葉と文化の違いを存分に楽しんだ一週間だった。

パッチワークファミリー

石丸 明・和子



我が家のゲスト、ライナーとイルゼは共に再婚組。その複雑な家族関係は本当にパッチワークファミリーのよう。箸の使い方は日に日に上達し、苦

手な魚を除いて、しゃぶしゃぶ、お好み焼き、カレーライス、肉まん、餃子など様々な料理にチャレンジし、「毎日サプライズがある」と言って喜んでくれた。日本語を覚えようとしたその努力にも共感。買い物には興味がなかったのに、餅会館で745円の古い着物を2枚購入しご満悦だった。

肘までの 羽織着付けや 春の城

佐々木 毅・太美子



AndreasとRuthの大柄な夫婦を迎えました。フリーデーは海を見たいと言う二人のために、松山観光港と北条の海辺を歩いて大満足でした。松山城二の丸で

のお茶会と着物の着付けは異国情緒を堪能したようです。和服に靴、人前で裾を広げて靴を履くRuthの姿は滑稽でした。

恒例の我が家でのガーデンパーティーはゲストとホストファミリー、三味線奏者8名、お茶とうどんのお手伝いで、総勢40名ほどの参加があり盛大なパーティーになりました。

シニア家庭に独身青年

佐藤 学・洋子



長身のトーマスは 28 歳の独身。「郷に入れば郷に従え」で椿湯、神の湯、姫彦温泉に入浴。食事は全て箸。うどん、すし、

ご飯に味噌汁なんでも OK。我が家の FF 交換プレゼントや土産物に驚き「FF 博物館だ!」。夜桜見物に道後公園へ。両親、玉井さん夫妻と我々は莫庵に座り「残り物パーティー」と洒落込む。焼き肉の煙にかすむ桜やお楽しみの人々をパチリパチリ。「早くドイツに来て」とサンキュウレターを残してゆく好青年であった。

「おいしいです。」



鈴木 英紀・節子

我が家のゲストは ED の Rainer&Ildiko さんご夫妻で、お二人とも穏やかで適度にお話し好きでした。今回特にうれしかったのは、食事に好き嫌いが

ないということです。お箸も毎度使われるし、緑茶が大好きで「お茶下さい」「おいしいです」という日本語もあちらで覚えてきて上手に使っていました。またドイツでは食事内容がシンプルだが日本では様々な材料で多くのメニューができていますと感心していました。家庭料理を通じていい交流ができた一週間でした。

Active woman

村上 勲・晶子

Verena Hoffmann(63)は、好奇心旺盛な 現役の英語高校教師。松山の印象は“ Everything New! Super!!”の連発。食欲旺盛、納豆、目玉の付いた魚介類以外は、野菜、肉、魚、みそ汁等、何でも OK。時間に正確で、明るく、ユーモアに富んだ素敵なゲストでした。



長女の初孫の誕生が気になり、毎朝、メールのチェックを欠かさない、優しい母親の顔もチラリ。時には Verena 先生と生徒の関係のような、やり取りで、本当に楽しい時間を過ごしました。いつの日か、Freiburg で再会できる事を願って別れを惜しみました。

好奇心一杯のゲスト

田中 明治・喜美子



Ruth と Klau は 69 歳のカップル。日本的なものにはとても興味を持ち何でも質問。そして出された料理はまずは食べた。でもホンの少量。「すき焼き」さえも。

今回ほど冷蔵庫が余りもので一杯になったことはなかった。ある晩、Ruth が「日本に来たらダイエットできると友人が言っていた」との言葉で「エ? ダイエットに来たの?」と思わず言いそうになった。時間厳守は流石ドイツ人! 彼らはユーモアもあり、楽しい受入れでした。

気難しい・大形・堅物カップル??

玉井 哲治・培子



“きもの”試着でご満悦の一家

ゲストは現役の判事と教師のカップル、事前の写真でも堅物の様? つい身構えてしまった。会って話し、共に過ごす内先入観は霧散。陽気で友好的しかも気配りの

行き届いた紳士淑女だった。日が経つにつれ慣れ親しみ、離松の前々夜には話が弾んでお互い涙が出る程笑いこけた。ゲストは日本の文化・風習の体験に積極的で、これの説明・理解・体験には佐藤さん一家と度々一緒させて頂いたのが有難かった。新な出会で再会したい“友”が又増えた。

ハートが通じ合った交流

峯 英司・洋子

今回は 51 歳のシルビアと 54 歳のフランクの恋人同士を受入れました。彼らは東ドイツ出身で、昔はロシア語を習わされたとの事。



それで英語が殆ど(フランクは全く)話せない事に納得。でも人柄が良く、大変前向きで私達に分からなくても一生懸命に話すシルビアと、その彼女を嬉しそうに眺めているフランクは大変好感が持てました。食事はお刺身を初めとして、何でも喜んで食べてくれました。楽しい 1 週間でした。

二人姉妹？

石丸 和子



国際基督教大卒で日本人と結婚、2女をもうけた後離婚という経験を持つ我がホストのアンドリア。2歳年上の彼女とはまるで姉妹のようにその波乱の人生、家族のこと、近隣住民のこと、鳥や自然、宗教など様々なことを話し合えた。毎朝指定の会場へと車を飛ばしつつ”It’s OK, I hope.” 愉快的な1週間でした。

国際基督教大卒で日本人と結婚、2女をもうけた後離婚という経験を持つ我がホストのアンドリア。2歳年上の彼女とはまるで姉妹のようにその波乱の人生、家族のこと、近隣住民のこと、鳥や自然、宗教など様々なことを話し合えた。毎朝指定の会場へと車を飛ばしつつ”It’s OK, I hope.” 愉快的な1週間でした。

大好き! ヘニーとジュディ 大塚 潤子



瀬戸のホストは83歳のヘニー。元高校の数学の先生で、趣味はブリッジ。ディナーパーティーでお世話になったブレスやスーとは良いカード仲間とか。今回、彼女は神経痛を患い、湿布を使いながらも気持ちよく歓迎してくれた。そんなヘニーを補足的に支えていたのが、お隣のジュディ。二人のおかげで、おおらかで明るいアメリカらしい生活を充分楽しめた。

瀬戸のホストは83歳のヘニー。元高校の数学の先生で、趣味はブリッジ。ディナーパーティーでお世話になったブレスやスーとは良いカード仲間とか。今回、彼女は神経痛を患い、湿布を使いながらも気持ちよく歓迎してくれた。そんなヘニーを補足的に支えていたのが、お隣のジュディ。二人のおかげで、おおらかで明るいアメリカらしい生活を充分楽しめた。

初めてのホームステイ 澤田 洋子



私のホストの George と Kathy は、とても温かく、家族のように迎えてくれました。食事の手伝いをしながら、面白い器具、沢山の香辛料を発見。元シェフらしいと

思った。朝は散歩しながら、大きな家庭木々を見て、さすがアメリカ。気持ちもおおらかになる。ホストとしての参考にもなり、行って良かったと思う。

閑静な住宅街 Wallingford でのステイ 鈴木 節子



George & Kathy の70代ご夫婦がホストファミリー。Kathyは薬の副作用で手がずいぶん震え、最初は驚いたが、慣れた様子で家事もしているのを見て安堵。Georgeが料理をいつもするので、Kathyは後片付けだけ。Retired chef というGeorgeの料理を期待していたが、腕を見せてもらう時間もなく、朝食のパンケーキやフレンチトーストを味わう程度。町の環境も緑いっぱい、幸せな気持ちで一週間のステイを楽しむことができた。

George & Kathy の70代ご夫婦がホストファミリー。Kathyは薬の副作用で手がずいぶん震え、最初は驚いたが、慣れた様子で家事もしているのを見て安堵。Georgeが料理をいつもするので、Kathyは後片付けだけ。Retired chef というGeorgeの料理を期待していたが、腕を見せてもらう時間もなく、朝食のパンケーキやフレンチトーストを味わう程度。町の環境も緑いっぱい、幸せな気持ちで一週間のステイを楽しむことができた。

78才で現役バリバリのホスト 田中 明治・喜美子

家事は一切しないと明言。「エ？誰がするの？」と聞くと私の方を見て「YOU!」という。開き直って「いいですよ」と答えるとにっこり。出迎いの空港からの



車中での会話。実際は同居のメイド?のような女性がいいたが。朝の5時ころからジムへ。夜も会社、土日も会社、趣味は仕事。タフな方でした。

Henni のうち

中村 緒由美



02年にステイした Ohio の Chuck の家と同じく、今回も condo と呼ばれる住宅にステイ。両ホストともシングルハウスを持っていたが、年を取って周りの木々や芝生の手入れが大変になったから、condo に移ったそうだ。Chuck の家はシングルタイプだったが、CT の Henni の家は、大体3軒がひとつになっていた。そして、このような住宅の形態がシニアハウスにも生かされていて、いいな~と思った。

02年にステイした Ohio の Chuck の家と同じく、今回も condo と呼ばれる住宅にステイ。両ホストともシングルハウスを持っていたが、年を取って周りの木々や芝生の手入れが大変になったから、condo に移ったそうだ。Chuck の家はシングルタイプだったが、CT の Henni の家は、大体3軒がひとつになっていた。そして、このような住宅の形態がシニアハウスにも生かされていて、いいな~と思った。

自然体でホームステイ

久保 玲子



ホストのサリーはハートフォード西郊の緑豊かな住宅街で一人暮らし。週3回年金関係の仕事をしている明るい女性。鼻歌を歌いながら朝食の準備をしている。驚いたのは冷蔵庫の中

「朝食を楽しんでいる」と、多様なジャム、パン、果物、飲み物などで謝罪。受入れは私が初めてのこと、自然体で会話が弾んでよかったねと頷き合った。

私のホスト、Susan!

松葉 睦子



Susan(70歳)、温かい人柄、細やかな心遣い、スマートな振る舞い。本当に素敵なレディだった。彼女への感謝の念はとてもこの場では書き尽くせない。私の帰宅を追いかけるように届いた彼女からの手紙にも書かれていたのだが、お互いに知り合えた事を誇りに思い、これからもずっとコンタクトを取り続けたいと思っている。Thank you, Susan!

Susan(70歳)、温かい人柄、細やかな心遣い、スマートな振る舞い。本当に素敵なレディだった。彼女への感謝の念はとてもこの場では書き尽くせない。私の帰宅を追いかけるように届いた彼女からの手紙にも書かれていたのだが、お互いに知り合えた事を誇りに思い、これからもずっとコンタクトを取り続けたいと思っている。Thank you, Susan!

おもてなし精神 有光 佳代



思い出深い地を訪ねることとなった今回の瀬戸は、旧友との再会もあり、忘れられない旅となった。CT の Sally & Chat, NI の Jean 両ホストのさりげないおもてなしのおかげで居心地のよい滞在となった。そして、FF 発祥の地アメリカのおもてなし精神を存分に味わうことができた2週間だった。

思い出深い地を訪ねることとなった今回の瀬戸は、旧友との再会もあり、忘れられない旅となった。CT の Sally & Chat, NI の Jean 両ホストのさりげないおもてなしのおかげで居心地のよい滞在となった。そして、FF 発祥の地アメリカのおもてなし精神を存分に味わうことができた2週間だった。

Sharon にまた会えた!

川端 満子



Northern Illinois の ED Sally は、私と Sharon がカップパドキアで偶然の再会をした現場に居合わせた人である。「是非うちのクラブにも来て。学と洋子を泊めて、貴女と Sharon も泊めるから。」と言ってくれた。Sharon は私が縫った服を持って来ていた。ずっと一緒に素晴らしい時を過ごした。

再会の旅

佐藤 学・洋子



コネチカットのローズマリーとは二度目の、イリノイのトムとサリーとは四度目の再会! 四年前に夫を亡くし以前よりオシャベリになったローズマリーはシムズベリーの町中を熱心に案内、トムとサリーは快脚尽くしたシカゴを案内してくれた。Exchange の後ミルウォーキーの湖畔の別荘でゆったり過ごす贅沢な日々を与えてくれた。

狐走る庭 'It's all good' 佐々木 毅・太美子



1700 年代を真似た家の中はアンティークの家具など多数、'It's all good' と書いた「立て札」が象徴する芝生の庭に感動。夕食は森の中のテラスでバーベキュー、センスのよい食器に盛られた手料理、コネティカットワインでおしゃべりを楽しんだ。日本文化に関心を示し、書道や舞扇などとても喜んだ。「卯月花 ホストの笑顔 耀けり」

老々交流を楽しむ

玉井 哲治・培子



今渡航はステイ先二カ所、他に観光有り、トラブル有りで話題は実に豊富。ホストは何れも平均年齢 80 歳以上の老夫婦、今迄とは一味違う交流体験だった。老々交流も味なもので、これを大いに楽しんだ。広く豊かで華やかなアメリカ、種々の社会問題を抱えるアメリカ、大国アメリカの陰陽の一部を直に見聞出来た興味深い渡航だった。



対照的なホームステイ

峯 英司・洋子

1 週目は大型犬 3 頭(1 頭 63kg) と子犬 1 匹。まず車にびっくり。臭いと天井まで貼りついた毛。家のソファは

犬用で、冷凍庫の中は殆ど犬の食べ物。食後はまず犬がお皿や食器をきれいに舐めて食洗機へ。犬中心の生活でした。2 週目は松山で会い、アイルランドで再会したアメリカンドリームを実現した仲の良い素敵なお夫婦でした。



初めての渡航 村上 勲・晶子

総ての面で Scale の大きい America の一端を実感。Home Stay を通して異文化も体験。Hartford の Betty は、高齢に拘らず、忙しい ED を務めながら私達を親切に迎えて下さいました。感謝、感謝。Northern Illinois の DiBrito 夫妻(Italy 系)とは、深夜迄、楽しい会話が出来ました。加えて、Chicago では、1 昨年受け入れた友人の CAROLYN OLSON と再会、Matsuyama での思い出話に花が咲きました。Exchange の素晴らしいさを再認識しました。



アメリカンライフ 安田 京子

コネチカットは? 歳のマーサ、イリノイは 85 歳のジーンが私のホスト。二人とも夫を看取って今は一人住まい。深い森の中、閑静な家はとても居心地が良く、リスや鹿、クマまでもが訪れた。愛車でハイウェイを飛ばす腕は頼もしいが...、どきっ! 彼女達の強くしなやかな生き方を 20 年後の私はできるだろうか...



初めてのアメリカ渡航 山内 則子

ヨーロッパの街並みに魅せられていた私でしたが、ビッグなまさに「This is America」を目のあたりにした 2 週間は大げさに言えば人生観を変えるほどのものでした。あらためて今、写真を見ながらスケールの大きなアメリカ人の生活の余韻を楽しんでいます。



北米訪問 鷲尾 守正

米国は広い。一軒当たりの敷地も、家も。二カ所のホームステイを通じて、シニアライフと、米国の勤勉さを学びました。というのもウェルカムもフェアウェルもポトラックのパーティーで済ませるのであります。私たちも見習うべきでしょうか...

三津浜界隈の散策 大坪 絢子



5月11日のハイキングは、伊予鉄三津浜駅のレトロな駅舎から始まり、三津浜は中世

期に河野水軍の拠点として、江戸時代には参勤交代の発着港として栄えた町で、近代商港として発展し、新旧文化の融合が至る所に見られます。昭和9年築の「白楊会館」は、愛媛女子師範卒業生用に造られた洒落た建物で、現在はレストラン。「濱田医院」も洋風で、モダンさは大正期とは思えません。これらと対照的なのが、「高橋家」「河野家」「近藤家」「木村家」などの旧家で、昼食の「森家」もその一つ。俳諧ゆかりの家だけあ

って、碧梧桐の句が掛かっています。ここの名物は鯛飯。お



焦げに誘われてお代わりをし、蓄音機の懐かしい曲に心が揺さぶられました。行程の最後は「渡し舟」。対岸までたった数分ですが、頬を撫でる風が爽やかでした。この日の歩数は1万強で、私にとっては数日分。それでも疲れなかったのは、花に目を留め、語らいながら歩いたからでしょうか。

「ワールド・フレンドシップ・デーの集い」に参加して 山内 則子



イギリスでのホームステイ体験を発表させていただく機会を得ました。英語も

十分に話せない私でしたが、台所での交流を初め、ホスト夫妻との交流の喜びを感じながら、その手ごたえの体験を述べさせていただきました。また未会員であるゲストに、私のFFとの出会いと加入の動機も紹介して。

3年前、私の住む大洲在住の会員のお宅に私も含め彼女の友人達が十数人招待され、その場に当時のFF役員の方達が集まっておられました。国際交流に取り組むFF活動の話や、その年のトルコ渡航の様子のスライド写真を見せてもらいながら紹介されたのが印象的で、こんな素晴らしい国際交流の場があったのかと興味を持ったのが、私のFF加入の動機でした。

今回は愛媛新聞の記者も同席されて、翌日の愛媛新聞に写真も一緒にその様子を掲載されたので、多くの人々にその存在を知っていただけたのではないかと。

次回はもっと多くのお客様が参加され、FFの輪が広がっていくことを願っています。

ネックレス作りに参加して 中村 緒由美

手仕事って範囲が広いですね。本来苦手で、原則しません。でも振り返ってみれば、要らなくなったスカートやベストを解いて、それを型紙にして新しいベストスーツ(?)を作るという暇なことをしたこともあり、ボードウィービングという織物には結構はまって、作ったセーターは今でも着ていますが、何本も織ったマフラーは人にあげて、自分には一本も残っていません。

手仕事に惹きつけられるのは、その仕事の種類よりもそれに使う材料ではないかと思えます。「ああ、この布が好き。」「この糸を



使ってみよう。」とついつい買ってしまいます。皆さんも沢山ためているでしょう。このネックレス作りも材料が大きな魅力。今あるものがリサイクルできるだけでなく、そのリサイクル材の作り出す思いがけない美しさが、みんなを惹きつけたのでしょうか。軽いし、手軽に使えるし、ウフフです。じゃ、また次の手仕事の会を楽しみにしています。

会員自己紹介

東温市 矢野 通子



昨年12月、コムズでの国際交流ボランティア講座で峯会長によりFF愛媛のご説明とお誘いを受け、その場で入会を決めました。仕事を退職するに当たって、これからは社会への貢献と自分の成長が望めるボラ

ンティアをやりたいと思ってこの講座に参加していたので、その感覚にぴったり合っていました。

今年、3月24日から田中さん宅で受け入れられるフライブルグに関してお話を伺いし、一緒に空港にお迎えに行き、2回デイホストをやらせて頂いた。英語は片言英語しか出来ないけれど、夢中だった。心は通じたと思える。来年はコスタリカに渡航したい。また、我が家にも受入れたいと思っています。英会話の勉強も頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

松山市 松下 愛佑



村上さんからのご紹介で、入会させていただきました。

いつも楽しそうにお話をされていて、ずっとFFの魅力を感じていました。是非みなさんと一緒に活動をさせていたきたいと思い、joinすることを決めました。国境を越えてフ

レンドシップを築いていくことは、FFメンバーだけでなく周りにもプラスの影響を与えることができ、FFは素晴らしいグループだと思います。

私は英語教室を開いています。まだまだ駆け出しで未熟者ですが、皆さんから刺激を受け多くを吸収していこうと思います！そして、どんどんFF活動にも参加をしていきたいと思っていますので、何卒よろしくよろしくお願いいたします。

「英語で話す集い」に参加しませんか？ 佐藤 学・洋子



フレンドシップ・フォースの受入や渡航などで英語を使わなければならない時が度々あります。こんな時自然に英語が口から出てきて会話がはずめば楽しく面白いでしょうね。「英語で話す集い」は英語で会話を楽しみ、英語力を伸ばそうとスタートし1年余りです。

毎月第2、第4水曜日 午後2時 4時 佐藤宅(979-6173) OPEN HOUSEです。

レベルは関係なし。費用もいらず、英会話に興味のある方は誰でもOKです。是非ご参加下さい。

伊予万歳(松づくし)を出し物の定番に！

今年6月のConnecticut 渡航で伊予万歳(松づくし)を披露した。我々FF愛媛の渡航は相手クラブの35周年記念行事の一環と位置付けられ、昼食会にはゲストスピーカーとしてFFIのGeorge Brown会長が招待さ



れていた。そこでお祝いの気持ちを表せるお目出度い出し物として愛媛県中予地方に約360年前から伝わる

万歳(祝福芸)「松づくし」を踊ることにした。中西フサさんのお世話で北条別府双葉会を主催している平

野修先生に教えて頂いた。頭に被っている折頭巾は矢野和子さんの製作。Connecticut では7人で踊り、Northern Illinois では4人で踊った。アメリカ人のみならず日本人会員にも大好評であった。将来的には皆で替わり合っ



て練習し、誰でも渡航・受入れの時に踊れるようにしたいと思っている。早速の出番は秋のOmaha 受入れのWelcome Partyである。皆さん、一緒に練習しましょう！楽しいですよ！(川端満子)

2013年 前半 活動報告

月日	行事	担当	活動内容
1/20(日)	コムズで遊ぼう	大塚潤子	コムズで活動している団体の発表会に参加 展示とステージ発表(ケニアのサファリツアーなど)
2/3(日)	春季総会 会報47号発行	事務局 会報編集委員	松山市民会館第4会議室にて 2012年後半活動報告 2013年活動計画など
3/9(土)	ワールドFFデー(WFD)	久保玲子	FFの創設と主旨の説明、渡航・受入れの体験発表、 活動が愛媛新聞に写真入りで紹介された。
3/24(日) ~31(日)	受入れ: フライブルグ/ドイツ	ED: 松葉睦子	アンバサダー17名 受入れ家庭10家族 平年より早い桜が満開の中での受入れとなった。
4/15(月)	手仕事の会 石丸 明・和子邸	矢野和子 澤田洋子	21名参加 会費200円 ネクタイ生地で作るネックレスを製作
5/11(土)	ハイキング: 三津浜界限散策	佐藤 学 玉井哲治	参加者14名 港山~梅津寺を散策 昼食は「鯛や」で鯛釜飯を堪能した。
6/3(月) ~11(火) ~18(火)	渡航: Connecticut/U.S.A.と Northern Illinois	ED: 川端満子	Connecticutに26名が7泊8日のホームステイ。 (途中でBostonに1泊旅行) Northern Illinoisに17名が3泊4日のホームステイの 予定だったが、飛行機が飛ばず2泊3日になった。

2013年 後半 行事予定

月日	行事	担当	活動内容
8/4(日)	夏季総会 会報48号発行	事務局 会報編集委員	コムズ4F 視聴覚室A 2013年前半活動報告 2013年後半活動予定など (受入れ・渡航の様子をパワーポイントで紹介)
9/13(金)	料理の会	矢野和子 澤田洋子	コムズ3F 調理室 講師: 渡邊ゆう子
10/5(土) ~11(金)	受入れ: Omaha, Nebraska/U.S.A. Greater Des Moines, Iowa	ED: 石丸教子	アンバサダー16名 受入れ家庭9家族 6日(日) Welcome Party 東京第一ホテル 11F 松山城・石手寺、お茶席、しまなみ潮流体験など予定
10/18(金)	西日本ブロック会議	鳥取クラブ	6名が参加予定
10/19(土) ~20(日)	日本大会	鳥取クラブ	10名が参加予定
11月中	日帰り研修 (または一泊研修)	玉井哲治	目的地未定
11月中旬	世界大会 New Orleans/U.S.A.		現在のところ参加予定者無し
12/1(日)	忘年会	中西 皓 峯 洋子	東京第一ホテル

*渡航 : 2014年3月コスタリカ ED: 石丸和子

*受入れ: 2014年5月カンピナス/ブラジル 10月ホノルル/USA

Stopover(3泊までの短いステイ): 2014年11月末~12月初め ベルギー

編集後記

コネチカット渡航は各自素晴らしい思い出と共に無事終わることができました。後半はオマハ受入れなど
各種楽しい行事が目白押しです。皆様こそぞってご参加ください。また会報について、その他何かお気づきの
ことがありましたら、是非お聞かせください。皆様のご意見を心からお待ちしています。

編集発行

2013年8月4日発行

フレンドシップ・フォース愛媛 No.48

編集者

大塚、川端、久保、安田、矢野和

〒790-0003 愛媛県松山市三番町5丁目9-1-302